

## 消費者動向調査 No.123

### テーマ「ボーナスに関する調査」

- ◆ 調査時期 2018年11月
- ◆ 調査対象 福岡県内のボーナスがある家庭の500人  
(うち男性242人、女性258人)

◆ 回答者区分

A.年代

	%
20代	15.2
30代	24.8
40代	20.0
50代	20.0
60代	20.0

B.あなたのご家庭で

ボーナスがあるのは

	%
夫だけ	72.4
妻だけ	8.4
両方	19.2

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。

**西日本シティ銀行**  
**NCBリサーチ&コンサルティング**

## [調査結果本文]

内閣府は11月の月例経済報告で、「景気は、緩やかに回復している。」と発表しています。先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。」としています。

このような中、消費者はこの冬のボーナス受給額をどのように予想し、どのように消費しようと考えているのでしょうか。ボーナス受給を間近にひかえ、福岡県在住の家庭を対象に冬のボーナスについての消費動向をたずねました。

なお、女性の就業率や共働き世帯の増加を背景として、2018年夏の調査より調査対象者を男性・女性（従来は女性のみ）としたほか、調査方法をインターネットによるアンケート（従来は文書）回答方式に変更しています。

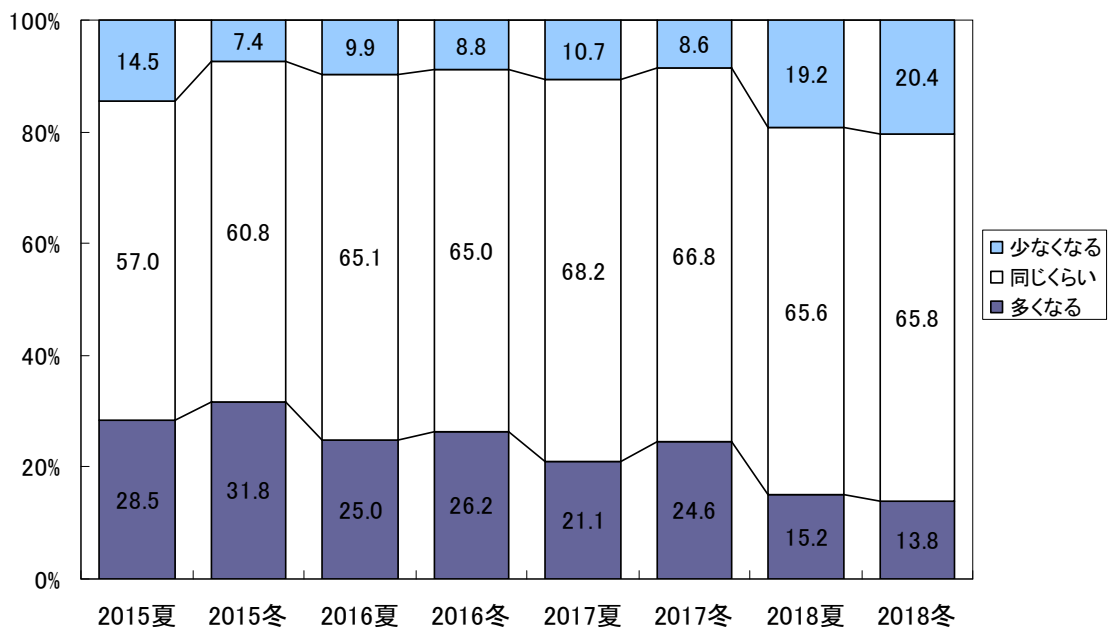
そのため、従来に比べデータが大きく変動している設問がありますが、調査方法の変更に伴う補正は行わず、単純な比較を実施しています。

### ◆ 今年の冬のボーナス、昨年より「多くなる」は13.8%。

冬のボーナスが昨年より「多くなる」と予測する割合は13.8%となった。「少なくなる」は20.4%、「同じくらい」は65.8%であった。

[グラフ1：今回の冬のボーナスは昨年に比べどうなると予想していますか]

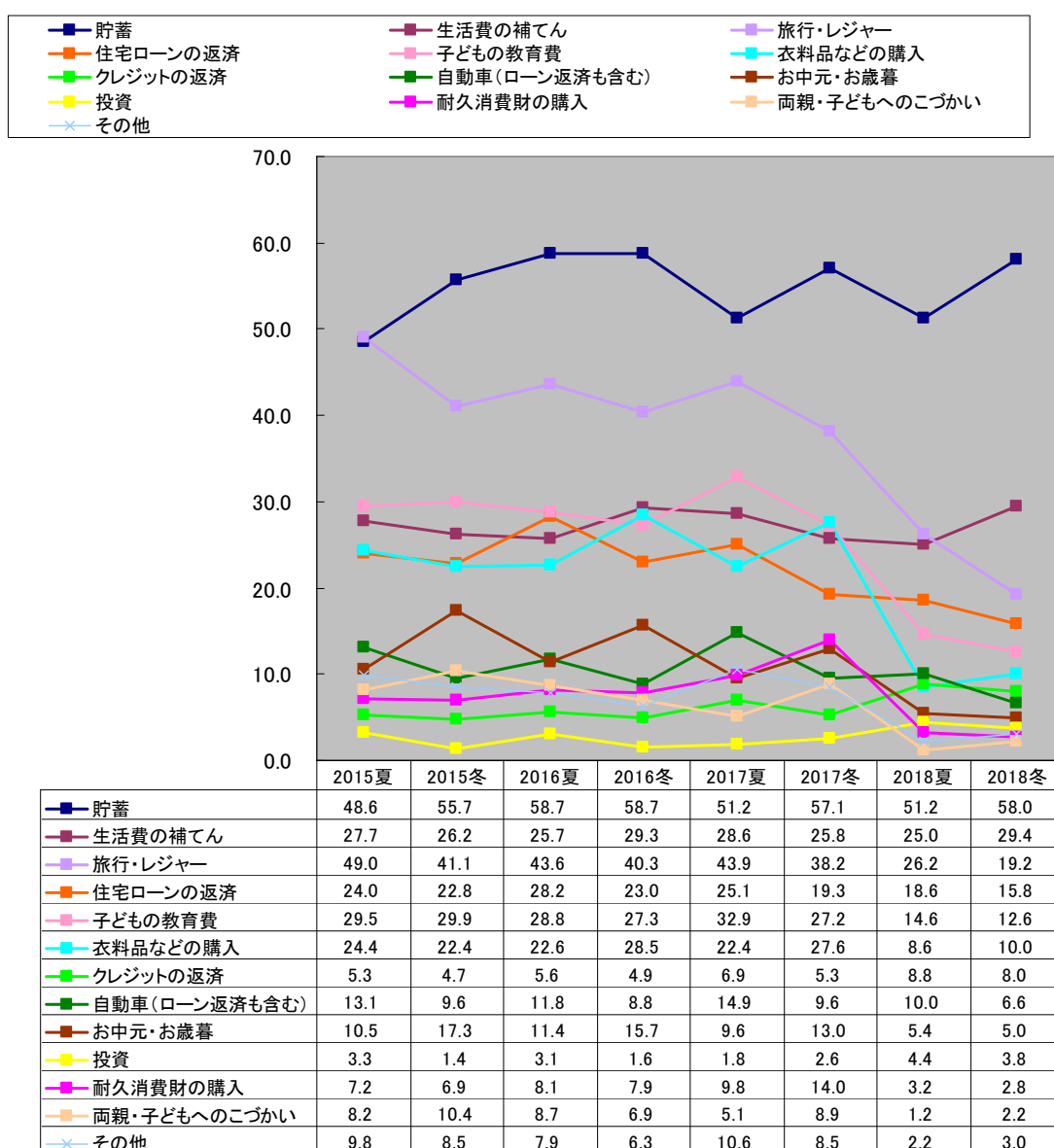
(単位：%)



◆冬のボーナスの使いみち予定、1位は「貯蓄」で58.0%。2位は「生活費の補てん」で29.4%。

冬のボーナスの使いみち予定、1位は「貯蓄」で58.0%。2位は「生活費の補てん」で29.4%、3位は「旅行・レジャー」で19.2%となった。

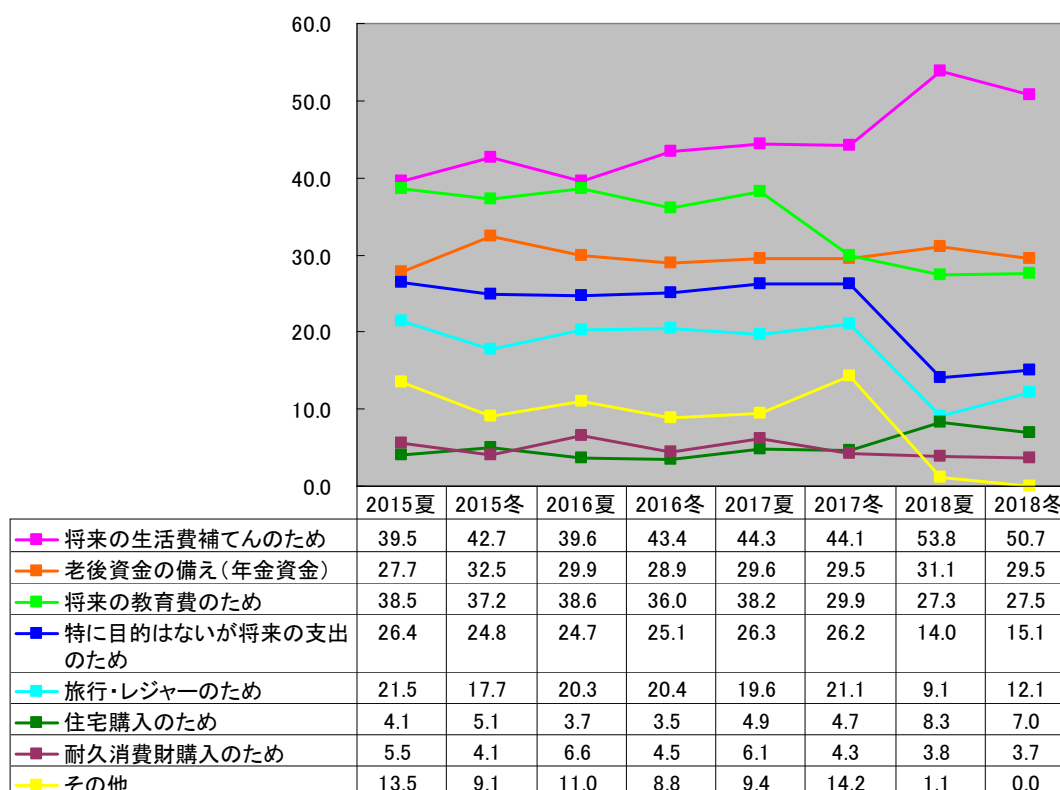
[グラフ2：今回の冬のボーナスは何に使う予定ですか（3つまで）] (単位：%)



◆ボーナスを貯蓄・投資(運用)する目的、1位は「将来の生活費補てんのため」で50.7%。2位は「老後資金の備え」で29.5%。

冬のボーナスを貯蓄・投資(運用)する目的の1位は、「将来の生活費補てんのため」で50.7%。2位は「老後資金の備え」で29.5%、3位は「将来の教育費のため」で27.5%であった。

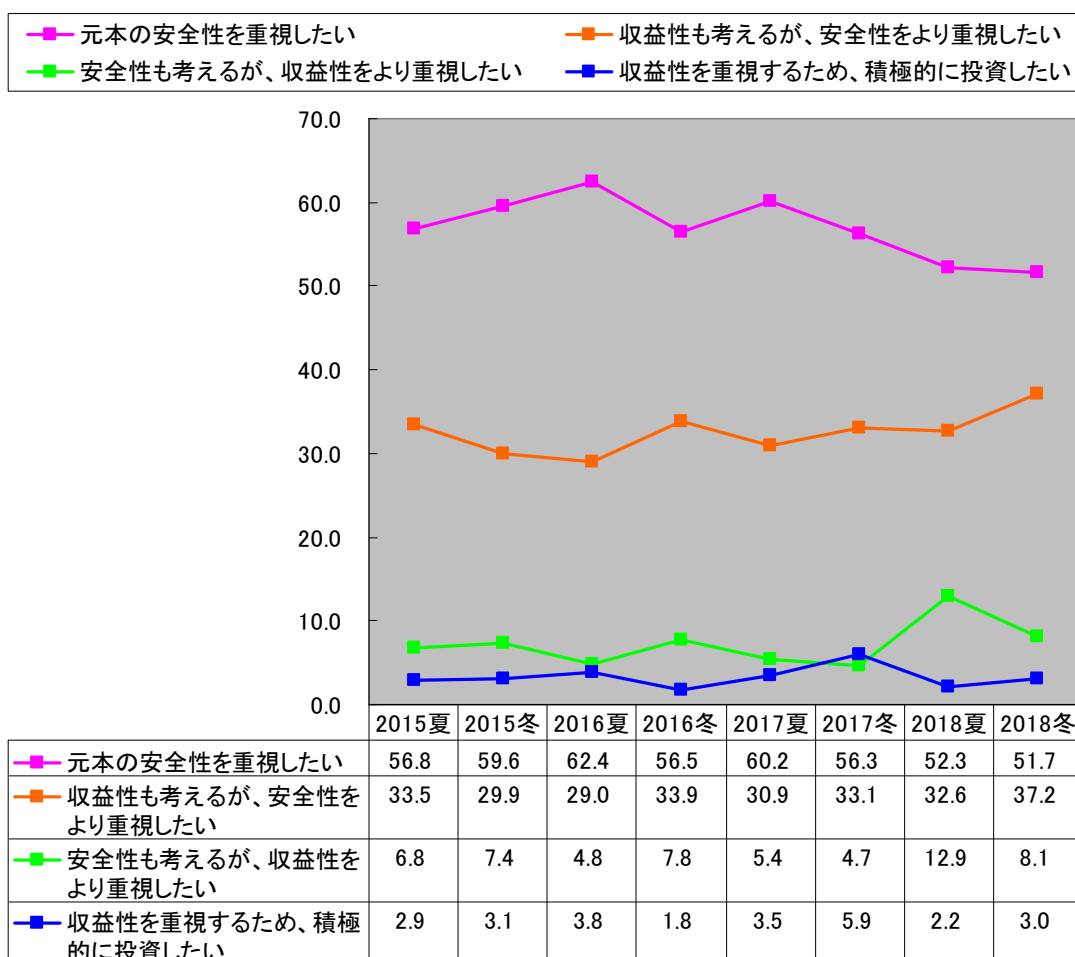
[グラフ3:将来の何のために冬のボーナスを貯蓄・投資(運用)しますか (2つまで)]  
(単位:%)



◆冬のボーナスを貯蓄・投資(運用)する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が1位で、51.7%。

「元本の安全性を重視したい」が、51.7%で、17期連続の1位。「収益性も考えるが安全性をより重視したい」が37.2%。

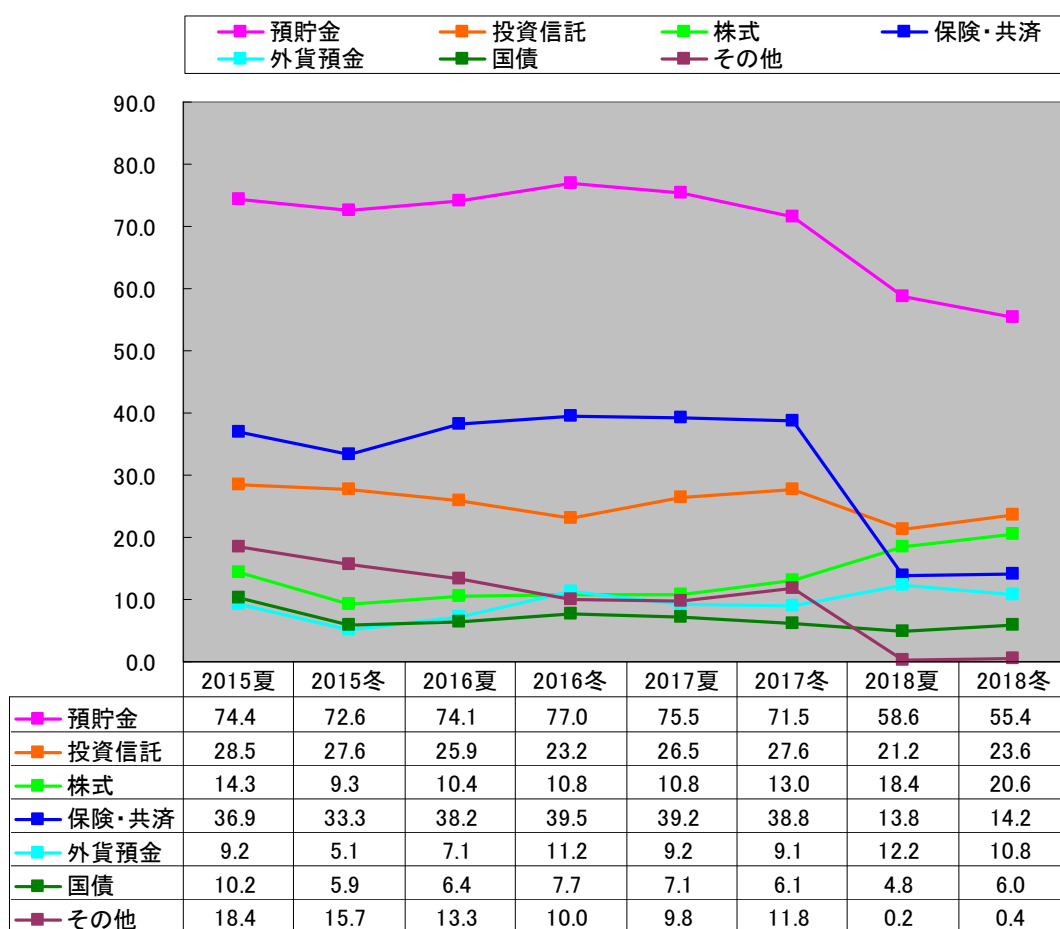
[グラフ4：冬のボーナスを貯蓄・投資(運用)する場合、あなたの考えに近いのは]  
(単位：%)



## ◆関心がある金融商品、1位は「預貯金」で55.4%。

現在関心がある金融商品は「預貯金」が55.4%で1位。2位は「投資信託」で23.6%、3位は「株式」で20.6%であった。

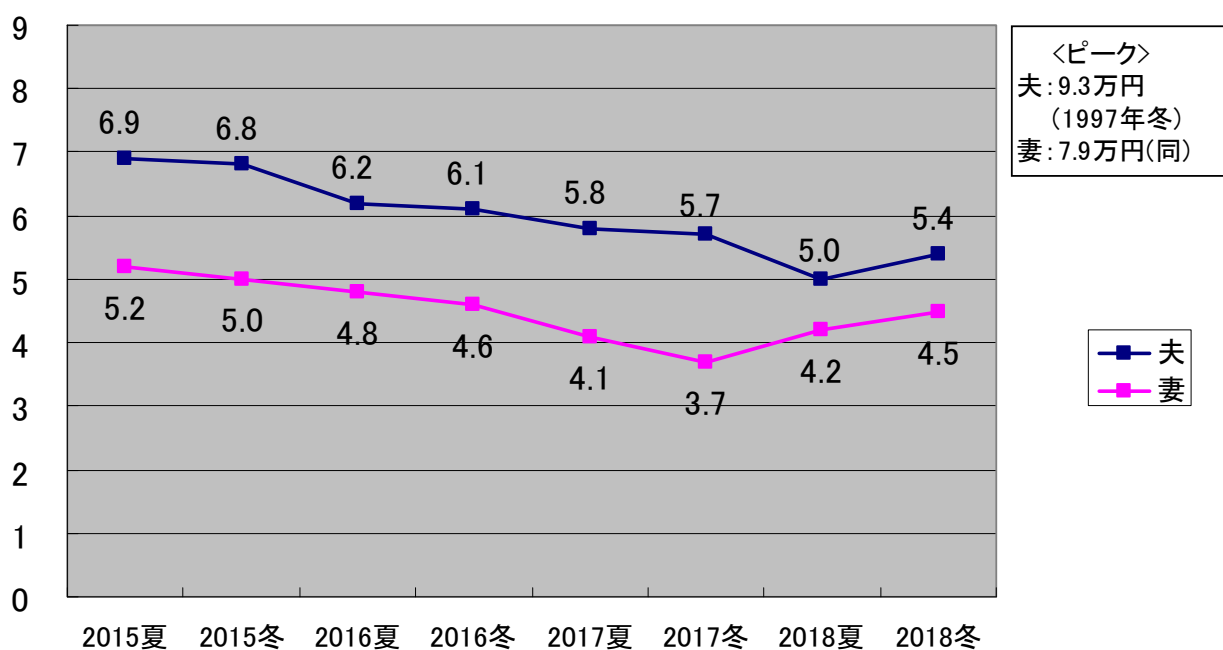
[グラフ5：どのような金融商品に関心がありますか (いくつでも)] (単位：%)



◆冬のボーナス、夫が自由に使える金額は平均 5.4 万円。妻が自由に使える金額は平均 4.5 万円。

冬のボーナス、夫が自由に使える金額は平均 5.4 万円。妻が自由に使える金額は平均 4.5 万円。

[グラフ 6 : 冬のボーナス、自由に使える金額はどれくらいですか] (単位 : 万円)



この調査に関するお問い合わせ先は

西日本シティ銀行	広報文化部	長谷川	TEL	092-461-1869
NCB リサーチ&コンサルティング	調査部	原	TEL	092-476-3051